



JA ごとう

2023

11

NOVEMBER
JAごとう
No.213

甘藷の収穫（五島市向町）

各農家が意識改革を

ごとう農協肉用牛部会役員会

盟友たちと親睦図る

青年部ソフトバレーボール大会

加工技術を取り入れ

ブランド化を図る

五島甘藷生産組合

五島の名産を守る

馬鈴薯部会出荷反省会

一大産地への挑戦始まる

契約甘藷部会

順調な生育を願って

ソラマメ植え付け

お客様に寄り添って

スマイルサポーター ロールプレイング大会



227頭が30万円を下回る

ごとう農協肉用牛部会役員会

各農家が意識改革を

9月期のせりで、平均価格が前回比18・8%、9万4476円という予想を超えた値下がりを見せ、生産者が危機感を募らせる中、ごとう農協肉用牛部会は9月25日、五島家畜市場で役員会を開き、今後の畜産経営に向けて協議しました。

会議に出席した各地区の支部長にも不安の表情が浮かびます。

家永組合長は、現状の課題として、子牛価格の下落。飼料・肥料など生産コストの上昇。大規模農家の借入金や購買代金の支払いを挙げ、子牛価格への対応は、JA単独では不可能で、行政へ価格9割補填を要望していく。飼料・肥料は、全農を含め高騰対策を進め、2割から3割ほど安くなくては、対策は引き続きやっていく。借入金や経費の支払いには、セーフティーネット資金を使い、今年と来年度の支払いを保留し引延ばしてもらう。行政からの補填金が振り込まれるまではプロパー資金で対応するつもりでした。

各地区の支部長からは、飼料やせり市などの手数料の引



国が生産者へ交付する支援事業の説明も行われました

き下げや未収金限度額の見直しなどの意見が上がりました。

これに対し組合長は、現在、飼料が一番手数料率が低く、せり市の手数料も畜産事業にかかる経費の方が上回っている。飼料代は1年半前の価格を基準として上がった分の9割近くは補填され、オーツヘイも3年前の価格になっている。しかし、子牛の価格が追いついていないとした上で、飼料となる牧草やワラの自家生産に努めてもらいたい。自分で作っている農家は、経営が安定していると感じるとの見解を示し、将来、必ず持ち



生産者の意識改革の重要性を訴える川崎部会長

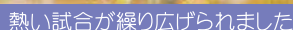
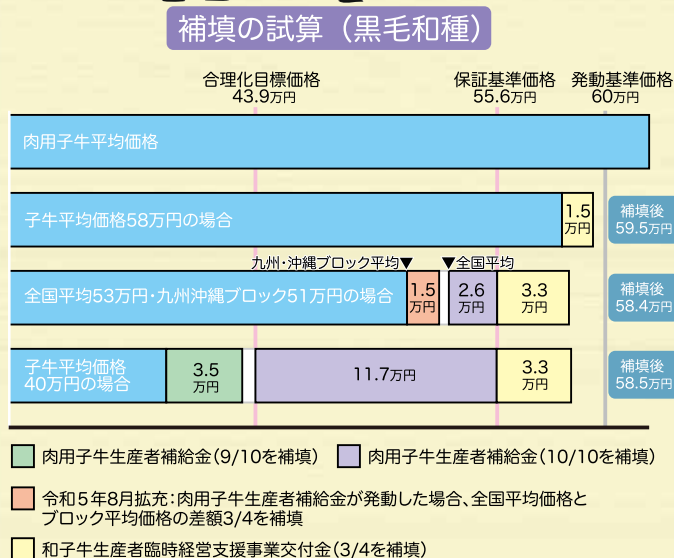
直す時が来る。それまで耐えてもらいたいと話しました。
川崎善一部会長は、9月のせりの成績を見て、取引された617頭の子牛の内、30万円未満が227頭もいることに、増頭はしたものの、1頭にかけられる手間が減り飼育管理が疎かになっている結果ではないかと分析。
我々に出来ることは、市場相場に左右されない上質な牛の生産に向けて各農家が意識を変えて飼育方法を改善していかないと今後、大打撃を受ける可能性がある」と訴えました。

和子牛生産者への支援

国は今年、『和子牛臨時経営支援事業』を発動しています。

これは、黒毛和種の四半期ごとのブロック別（北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロック）平均価格が発動基準価格（60万円）を下回った場合に、その差額の4分の3を支援するもの。

とになっています。



ボールに悪戦
苦闘しながらも



た。

所が悪いと、と

戦いとなりました。

い疲れに浸っていました。

加工技術を取り入れ ブランド化を図る

五島甘藷生産組合

10月中旬、五島甘藷生産組合では、甘藷の収穫が本格化しました。今年、組合では9名の生産者が6畝を作付けしています。

「今年のは」と期待を寄せています。取引するのは、大阪市中心部、直轄産地との契約を進め安定した商品供給に取り組んでいます。



本格的な収穫を迎えた山内さんの圃場で

た。清一さんの父、三弘さんは「再び五島で甘藷を作る時代が来る」と感慨深く話します。

今年、甘藷に山内さんは、「二株に7〜8玉と例年より玉数が多く品質も良好。収量も計画を上回り60トを超



五島産さつまいもを使ったデザート感覚で味わえる『冷やし焼き芋』産直市場五島がうまいでも販売されています。

丸促では、消費者のニーズに応える加工品の開発にも取り組んでおり、五島産さつまいもを使用したデザート感覚で食べる『冷やし焼き芋』を開発、販売しています。



収穫を前に行われた目揃い会



長谷川部会長より名産の馬鈴薯を守り育てようと呼びかけられました。

五島の名産を守る

馬鈴薯部会 出荷反省会

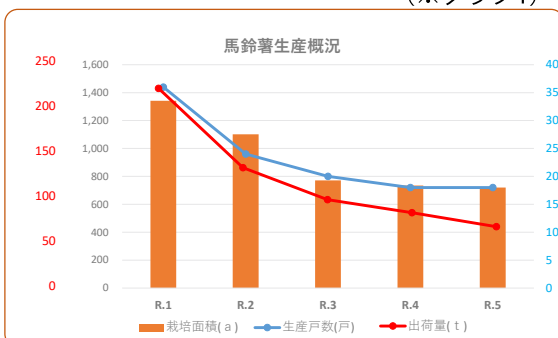
J Aごとう馬鈴薯部会は9月26日、崎山支店で出荷反省会を開き、生産概況や出荷実績について協議しました。

今年、1月下旬の寒波の影響で茎や葉に被害が見られ、2月には日中の気温も上昇したことで被害は回復したものの、5月の降雨と、例年より早い梅雨入りで生育にも

差異が見られ、収穫作業も遅れるなど、収量は83・6トと昨年と比べ15%ほど下回りました。

令和5年産の春作馬鈴薯は、部会員18名が7・2畝を作付け。生産資材の価格が上昇する中で昨年並みの面積を維持していますが、部会員の高齢化等もあり、この5年間で生産者数、栽培面積ともに半減しています。（※グラフ1）

（※グラフ1）



「高品質を維持することがブランド化には欠かせない」とするのは、部会が取引する（株）福岡ソノリクとの申し合わせ事項。生産コス

将来、作付面積200ヘクタールを生産量4000トを目標に掲げ、五島を甘藷の一大産地にすべく取り組む契約甘

契約甘藷部会

諸部会は、10月2日、本年産甘藷の初出荷を迎えると、本格的な収穫に入りました。

10月中旬、亀山光孝部長の向町の圃場では、日の出間もなく収穫が始まり、丸々と育った赤紫色の甘藷が次々と掘り起こされました。その見事な出来栄に「収穫期の前に雨が多く心配した」という部会長も満足そうな笑顔。

部会では、ウイルスを除去することで、作物の本来の能力を引き出し、秀品率が高く、収量増加につながるかとされるウィルスフリー苗を一部導入しています。

ただ、この苗はウイルス病に抵抗力があるわけではなく、一般圃場で害虫からウイルスに再感染すると、年々その効果は薄れてしまふそうです。

うそうです。

「高品質を維

持することが

ブランド化に

は欠かせない」

とす。そのに
部会が取引す

る(株)福岡

ソノリタとの

申し合わせ事

項。生産コス



初出荷でトラックへの積み込みを終えて笑顔の部会員の皆さん

トとのせめぎ合いも悩ましいところですが「売れないことには面積拡大は出来ない。買ってもらうためには、より高品質な甘藷を作り続けなければならぬ」と、肝に銘じる亀山部会長。

部会の挑戦は始まったばかりです。

順調な生育を 願って

ソラメ植え付け

山本次博さん
(野々切町)

8月下旬に蒔かれたソラマメの種。2〜3センチの幼根が出た後、約1か月間の冷蔵保存を経て、各生産者の圃場に定植されました。

したという山本さんは、「一度やめていたが、数年前からもう一度作ってみようと思った」そうで、豆類は、少面積で収量が見込める作物であることや、重量野菜と比べて体力を要しないことも利点となっているようです。

畑を眺め「昨シーズンのような寒波に見舞われないように願いたい。あとは適度な雨が降ってくればね」と山本さんは笑顔で話しました。

五島市野々切町の山本次博さん（68）は10月1日、10^リの畑に1600粒の種を植え込みました。

「植えてから雨が

「山本さん。その

悲あつてうねに

阪せられたビニ―

マルチには、株

50
チセン
ごとに開け

れた丸い穴から

かれています。

25年前に、初め

てソラマメを栽培



水やりの甲斐があって小さな芽を出したソラマメに安堵する山本次博さん



表彰される85歳以上の参加者たち



10月5日、爽やかな秋晴れのもと第20回こうとう農協年金友の会ゲートボール大会が開催されました。農協の文化活動の一環として、ゲートボールを通じて農協理解と会員の親睦、融和並びに健康増進を図ることを目的とし毎年開催されています。

今大会には上・下地区合わせて13チームの総勢71名が参加。健康増進の観点から、85歳以上の参加者に対して表彰を行っています。今年度は該当者が5名。今大会の最高齢は三井楽支部の釜弁天チームの村尾義和さんで94歳。会員たちは、大会趣旨に則り、和気あいあいとしながらも優勝を目指して競い合いました。

どの試合も白熱し、どのチームが優勝してもおかしくない接戦を制したのは、三井楽支部の柏友会チームでした。次いで準優勝には岐宿支部の楠原チームが、第三位には木場支部の年輪会が、敢闘賞には同じく木場支部の籠淵チームが輝いています。

秋晴れのもと健やかに競う 年金友の会ゲートボール大会



優勝した柏友会チーム



準優勝した楠原チーム



第三位の年輪会チーム



敢闘賞で賞状を受け取る籠淵チーム



LA下期対策会議

安心を届ける活動に 力強い一歩

10月11日、本店では、LA下期対策会議を開き、JA共済の普及推進を担うLA（ライフアドバイザー）職員の上期の活動経過と下半期に向けた活動方針を協議。役員らより労いと激励の言葉が贈られました。

家永組合長は「各LAが目的意識を持って、JA共済の普及活動に尽力頂いている事に感謝します。下期に対する力強い一歩を踏み出してもらい、我々もそれを支援していく」と挨拶。

全国共済農業協同組合連合会長 崎県本部の内山副本部長は「コロナウイルスによって人々の生活様式や考え方が変化した中で、JA共済は『新たな時代に変わらぬ安心を』というスローガンのもと、安心という文字を共済金という形でお客様へ届けてきました。JAごとう管内で、昨年度支払われた共済金は、生命共済と建物共済を合わせると10億4千500万円に上り、これほど地域に根差し安心



気持ちを新たに下期の普及活動がスタートしました。

を届けられる事業はありません」と話し「組合員や地域の方々にも慮の際には『常にそばにいるJAが安心を届ける』ことを目指した訪問活動をお願いしたい」と激励しました。

LAより上期の振り返りと下期の取組みについて、活動内容や活動方針が発表され、特に生命系の保障提案に重点を置いた普及活動に取り組むことを確認しました。

最後に出席者全員による『ガンバロー三唱』が声高らかに唱和され、下期のLA活動がスタートしました。



スマイルサポーター ロールプレイング大会

お客様に寄り添って

JAごとうスマイルサポーターロールプレイング大会が10月14日、本店で開催され本店共済部の久保風輝さんが最優秀賞を獲得。11月21日に長崎市のJA会館で開催される『第11回JA共済スマイルサポーターロールプレイング大会』への出場の切符を手に入れました。

本大会は、組合員・利用者のニーズに則した保障提案を実現していくことを目的に開かれています。コロナウイルス感染拡大の影響で、今回4年ぶりの開催となりました。

競技には、本・支店で共済事業に携わる職員6名が出場。

お客様を出迎え見送るまでの実際の窓口対応を想定した形で



最優秀賞に輝いた久保風輝さん



審査員を前に行われたロールプレイング。緊張感が伝わってきます。

行われ、身だしなみやしぐさ、言葉遣いのほか、会話の進め方などのスキルが組合長をはじめ5名の審査委員によって審査されました。

大会に向けて練習してきた職員も、いざ本番になると皆緊張した様子。競技を終えると「思っていたことの半分しか出来なかった」と悔しさを滲ませる職員もいました。

スマイルサポーターは、JAの本・支店で組合員や利用者に対応し、JA共済の顔になる窓口担当者の愛称で2006年に命名されました。

いざという時に備えて

直売所で防災訓練

産直市場五島がうまい（以下直売所といいます）は9月29日、五島市消防本部の指導のもと防災訓練を行いました。

訓練では、店内で火災が発生したことを想定。非常ベルが鳴り響くと、直売所の職員がお客さん役を非常口へ素早く誘導して屋外へ避難させていました。

屋外では、消火器を使った火災の初期消火の訓練も行われ、消防署員から「火災は、炎が天井に達するまでは、消火器を使った初期消火が可能です。もし、炎が天井に達した場合には、



消防本部職員より消火器の使用 방법이説明されました。

すぐに避難してください」と説明。消火器の扱い方が実演されました。説明を受け職員らは、実際に消火器を手に、炎に見立てた火点に向かって消火訓練を行いました。

直売所では、お客様が安心して買物ができるよう毎年この時期に防災訓練を行っています。

利用者の声を運営に

Aコープ利用者懇談会

10月20日、日頃からAコープ浦桑・若松を利用して頂く利用者に集まって頂き、利用者懇談会を開催しました。

同会は利用者の様々なニーズに応えるべく、利用者との懇話をもとに様々な意見を取り入れることで、店舗運営をより良いものにしようとする。平成27年以来8年ぶりに開催され、今年度2回目となる今回も活発な意見交換の場となりました。会には全農ながさきより前田職員も参加して頂き、Aコープで取り扱っている『Aコープマーク品』の商品についての研修会も行われました。『白菜漬けの素』や『米油』、『塩麹パウダー』など、



集まった利用者へ挨拶をする安田常務

計7つの商品についての紹介や使い方をご指導頂きました。今回の会を受けAコープ関係者は、「様々な意見を出して頂いて有意義な時間となったと思う。頂いた意見を参考に、より良い店舗づくりを目指していく。」と今後への熱意を語りました。

27周年大誕生祭

Aコープ浦桑店

10月27日から29日までの3日間で、生誕記念大誕生祭を開催し、多くのお客様で賑わいを見せました。

Aコープ浦桑店は、皆様のご愛顧のおかげで生誕27周年を迎えることができました。そのご愛顧への感謝の気持ちを表すべく行われた大誕生祭では、3日間で約5,000人のお客様にご来店頂き、店内どこをとっても大賑わいの3日間となりました。

今後もAコープ浦桑店では、職員一同力を合わせ、また組合員や利用者の声を聞きながら、地域の皆さまに愛される店舗を目指して参ります。

たくさんのお客様で賑わう店内の様子





JAごとうの力を地域へ

9月30日、地域貢献活動の一環として、JAごとうの有志職員が福江みなとまつりに参加しました。

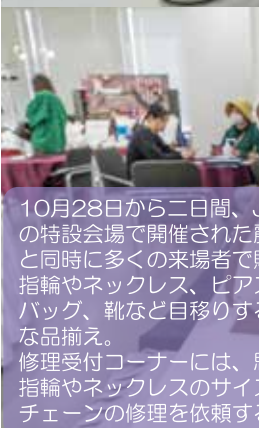
今年度はコロナの開催制限がなくなったことでマスクをする方も少なくなり、ねぶたはもちらん、当JAのキャラクター「ごとうさん」や五島牛を模した神輿を見た観覧者たちの笑顔がたくさん見られました。

今後もJAはこのような地域活動への積極的な参加を通して、地域活性化へ貢献していきます。

下地区 **麗宝展** ご来場いただきありがとうございました。









10月28日から二日間、JAごとう本店の特設会場で開催された麗宝展。開場と同時に多くの来場者で賑わいました。指輪やネックレス、ピアスに腕時計やバッグ、靴など目移りするほどの多彩な品揃え。修理受付コーナーには、思い入れのある指輪やネックレスのサイズ直しや切れたチェーンの修理を依頼する方々も。

第23回

JAごとう

農業まつり

JAごとう本店特設会場

11/25(土)・26(日)

10:00~16:00 9:00~15:00

舞い上がれ！五島の絆と農業の力



ごとうさん

主な催しもの

- 農産物コンクール●農産物即売●畜産物即売
- 米即売●農機・自動車展示会●電器展示会
- Aコープ商品展示会●産直果物即売●露店販売
- ポイントラリー●フリーマーケット
- ランドセル展示会●仏壇展示会
- ポップコーンプレゼント
- 大型トラクター試乗（記念写真プレゼント）
- JA共済ブース●JAバンクブース
- 組合員加入促進ブース
- ステージイベント各種

☎ 0959-72-6211 fax 0959-72-3077

会場のご案内



※駐車場は準備いたしておりますが、満車の祭はご入場を制限させていただく時間帯がございます。なにとぞ、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

主催:ごとう農業協同組合 各生産部会 青年部 女性部 協賛:五島振興局 五島市 新上五島町 全農長崎本部

12/3日

9:00～15:00

上五島で 農業まつり

会場：新上五島町石油備蓄記念館

- 冬季電化ショー等合同展示会
- ガス器具・農業機械展示即売会
- 農産物加工品評会
- 「五島牛」「五島美豚」即売会
- 地元業者特産品即売会
- 地元野菜即売

合同展示会は農業まつり当日の9時～15時、
前日の12月2日（9時～17時）も開催いたします。

令和五年度第七回理事会

令和五年十月二十日金開催

次第

1 議案事項

議案 No. 1 出資金の減口について ※可決・承認された

議案 No. 2 貸付金（理事の利益相反取引）の審査について

※可決・承認された

議案 No. 3 固定資産の取得について ※可決・承認された

議案事項 その他

2 報告事項

報告 No. 1 主な事業経過と行事予定について

報告 No. 2 主要事業9月末計画と実績について

報告 No. 3 産直市場「五島がうまい」9月末実績について

報告 No. 4 令和5年9月末食肉販売実績について

報告 No. 5 令和5年10月県内家畜市場市況について

報告 No. 6 令和5年度第2四半期内部監査実施状況について

報告 No. 7 固定資産の入札結果について

報告 No. 8 第23回JAごとう農業まつりについて

報告事項 その他

災害対策資金(ウクライナ情勢)



©よりぞう

ウクライナ情勢悪化に伴う原油価格・農業資材価格等高騰の影響により価格が高騰した資材等の購入に必要な運転資金としてご利用いただけます。

保証料全額助成！

借入時に一度お支払いいただきますが、後日全額返戻されます。

負担金利 年0%

期間：令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)

災害対策資金(ウクライナ情勢)の商品概要

借入金額：1,000万円かつ、所要額以内とします。

借入期間：5年以内とします。(据置期間は必要な場合に限り1年以内とします。)

返済方法：元金均等返済とします。

担保：原則として、担保は不要です。(必要に応じて設定させていただくことがあります。)

保証：原則として、長崎県農業信用基金協会の保証をご利用いただきます。法人の方は、代表者を連帯保証人とします。

施設作業員募集

作業場所

作業期間

育苗センター	3月～11月
アスパラ選果場	3月～10月
ブロッコリー選果場	12月～5月
高菜加工施設	12月～3月
富江トマト選果場	9月～6月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。

☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを

社会保険労務士へ相談してみませんか？

開催日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)

開催時間 1)09:00～09:50 2)09:50～10:40
3)10:40～11:30 4)11:30～12:20

詳細は本店金融部までお問合せ下さい

☎0959-72-6212



株式会社 JAごとう葬祭

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場

五島がうまい

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1

電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922

営業時間：9時～19時(7月～8月)

9時～18時30分(上記以外の月)

※農家レストランは10時30分～14時(予約については別途)

※土日限定バイキング 11時～14時

料金 大人：1,500円 子ども：700円(小学生以下)

休業日：棚卸日(9/末、3/末) 年始(1/1・2・3)

水曜日(農家レストランのみ)

編集 後記

福江みなとまつりに広報として参加させて頂きました。記事中にもありますが、今回のまつりはコロナの制限が解除され、マスクをしている方の少ないまつりでした。ねぶたを曳きながら周りを見渡すと、沿道の皆さんが皆笑顔でこちらを見ており、マスクがあり表情の見づらかった昨年とはだいぶ雰囲気の違うまつりだったと感じております。その雰囲気を写真に収めたくカメラを向けるのですが、発光しているねぶたとその前方を歩く牛の神輿、それから沿道の暗さのギャップになかなか明るさ調整が上手くいかず思うような写真が取れないまま終わってしまいました。もっと上手に撮影できるように精進して行きたいと思います。(長瀧 俊一)



●JAごとうNo.213 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。